

公演によせて



学長 須賀 英之

創立50周年を記念して地域の皆さまのご支援により、本学教員・学生合同の演奏会が本学で開催されますことを、大変嬉しく思います。ご尽力を賜りました卒業生をはじめ関係者の皆様には、深く感謝申し上げます。

半世紀に亘る宇都宮短期大学・同附属高校音楽科の卒業生は5,700名にのぼり、地域の音楽文化の向上や人材養成に幅広くご活躍されるとともに、世界各地に演奏の場を拡げております。本学では、平成28年度に邦楽専攻コース、平成30年度に吹奏楽アンサンブル専攻コースを開設し、専用ホールを新設するなど、教学も益々充実しております。

本日の演奏会が、本学の温故知新をお伝えし、皆様との音楽を通じたご縁が一層深まる機会となりますことを期待し、重ねて御礼を申し上げます。

PROGRAM



1. サクソフォン二重奏

田名部有子(ソプラノサクソフォン) 瀧岡涼(アルトサクソフォン)

益子徹(ピアノ)

協奏的二重奏曲 作品55 ジャン=バティスト・サンジュレー 作曲

ヘンリー・マンシー二名作映画音楽メドレー ヘンリー・マンシー二 作曲 山口景子 編曲

2. 独 唱

鎌田亮子(ソプラノ独唱) 益子徹(ピアノ)

「初恋」 越谷達之介 作曲

オペラ『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」 プッチーニ 作曲

「かんぴょう」 福井文彦 作曲

3. 木管アンサンブル

小牧茄央里(フルート) 田淵哲也(オーボエ)

佐藤友香(クラリネット) 新井啓泰(ピアノ)

デンマークとロシア民謡によるカプリス サン・サーンス 作曲

4. 邦楽アンサンブル

和久文子(箏) 前川智世(十七絃) 福田智久山(尺八)

「雪ものがたり」 沢井忠夫 作曲

5. 二台ピアノ

新井啓泰(第1ピアノ) 阿久澤政行(第2ピアノ)

ハイドンの主題による変奏曲(二台ピアノ版)作品56b ヨハネス・ブラームス 作曲

6. 金管アンサンブル

林美智子、武田紫穂、福田みなみ(トランペット) 上林洸太(ホルン)

中沢誠二、田村和久(トロンボーン) 渡邊陽香(ユーフォニウム) 平野颯太(チューバ)

晴れた日は恋人と市場へ 建部知弘 作曲

もう一匹の猫「クラーケン」 Chris Hazell 作曲 原田大雪 編曲

プログラム ノート

〈各出演者記〉

1. サクソフォン二重奏

協奏的二重奏曲 作品55

ジャン=バティスト・サンジュレー 作曲
ベルギーの作曲家でヴァイオリニストでもあったサンジュレーは、サクソフォンを発明したアドルフ・サククスと交流があり、歴史の浅いこの楽器の中では最も古典的な作曲手法で作品を残してくれた作曲家です。今日演奏する楽章も心地良いシンプルな和声を用いながらもロマン派らしい自由さが感じられる曲です。

ヘンリー・マンシー二名作映画音楽メドレー

ヘンリー・マンシー二 作曲 山口景子 編曲
続いて数多くの映画音楽の名曲を作曲したマンシー二の作品からムーン・リバー、ひまわりをお届けします。

2. 独 唱

「初恋」 越谷達之介 作曲
越谷達之助が、石川啄木の短歌15編に曲をつけて、「啄木によせて歌へる」として1938年に発表した歌曲集の中の第一曲です。

オペラ『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」
プッチーニ 作曲
主人公のジャンニ・スキッキが、大富豪の遺産を巡る親戚間の騒動と、若い男女の恋を見事に解決するさまをコミカルに描いたオペラ『ジャンニ・スキッキ』の劇中歌。「ラウレッタのアリア」とも呼ばれ、非常に有名なアリアです。

「かんぴょう」 福井文彦 作曲
北原白秋が講話のために栃木県を訪れた際に、栃木県名産のひとつでもあるかんぴょうを干している風景を馬車から見て作詩したといわれています。

3. 木管アンサンブル

デンマークとロシア民謡によるカプリス

サン・サーンス 作曲
サン・サーンス(1835-1921)の「デンマークとロシアの歌によるカプリス」は、1887年のロシア演奏旅行のために書かれ、当時の皇帝アレクサンドル三世の妃でデンマーク出身のMarie Feodorovnaに献呈されました。華やかな序奏からロシアの歌(変奏曲)、デンマークの歌を経て、再び華やかなフィナーレ、という構成の、祝祭気分に満ちた四重奏曲です。



4. 邦楽アンサンブル

「雪ものがたり」

沢井忠夫 作曲

1954年12月作曲、子供の為の舞踊組曲として書かれたものです。

1 情景、2 踊り、3 子守うた、4 夢、5 吹雪
後に板倉要氏の作による物語が寄せられ、音楽の展開にしたがって、これを朗読しながら演奏する事もあります。作曲者によれば「この作品は私の一番初期に作曲したもののひとつです。作曲年代は1954年12月となりますが、これは現在ある箏・十七絃・尺八のトリオの形になった時で、その以前に箏の独奏曲として私が高校生の十六才の頃に作曲したものが基になっております。トリオに書き直したきっかけは、子供の為の舞踊組曲としてこの曲をとった事です。そして子供の洋舞の伴奏といった形で、ナレーションも入れました。色々なテクニクを要求され、早いテンポの部分もあり難曲であると言えるかも知れません。題名の「雪ものがたり」は、雪の降る里の情景を背景としたこの舞踊組曲にぴったりと思って名付けました。」とのことでした。

作曲者「沢井忠夫箏作品集③」解説より引用

5. 二台ピアノ

ハイドンの主題による変奏曲

(二台ピアノ) 作品56b ブラームス 作曲
ブラームス(1833-1897)はこの変奏曲を最初に二台ピアノの曲として1873年に作曲し、後に管弦楽曲としました。彼の作風はロマン派の中でもバロックや古典派の時代に範を求め、アカデミックな構築性ある音楽で知られています。大先輩ハイドンの名を冠し、素朴なテーマからその特徴を活かす変奏は見事で、過去の偉大な音楽家への敬愛とブラームスらしい温かさを感じる作品です。

6. 金管アンサンブル

晴れた日は恋人と市場へ

建部知弘 作曲

2013年にフレキシブル版が出版され再注目を浴びているこの曲は、元々東京・玉川学園中学部吹奏楽部の委嘱で、アンサンブル・コンテストのための曲として2003年に作曲されました。爽やかな晴れた日に、愛する人と晴れた空のもとへ出かけるという主人公の素直な心の動きを朝の目覚めから追っています。各楽器は場面ごとの気持ちを表しています。

もう一匹の猫「クラーケン」

Chris Hazell 作曲 原田大雪 編曲

フィリップ・ジョーンズ・プラス・アンサンブルの委嘱で金管10重奏用に作曲された「猫の組曲」の中の1曲。作曲者、クリス・ヘイゼルの家に捨猫としてやってきた小さな雌猫です。冗談半分で伝説の海の怪物の名前をつけましたが、彼女は成長しても小さいままでした。後で加わった猫がどんなに大きくても彼女はリーダーであり続けました。どの猫よりも長生きした彼女の堂々とした音楽は誰がボスであるかを示しており、また彼女の挑戦的なしっぽのためにもうひとつフーガが作曲されました。